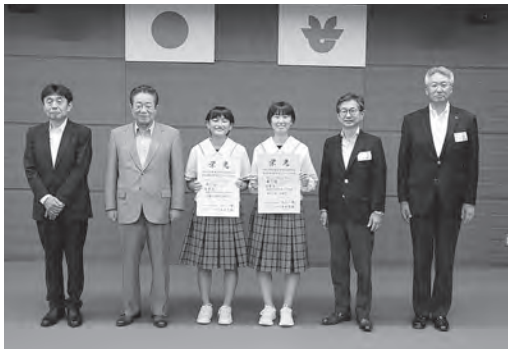
中村第一中学校 全国大会出場報告
野球部、ソフトテニス部

全国中学校体育大会出場報告は8月12日、市役所で行われ、中村第一中学校の野球部とソフトテニス部の選手ら30人が訪れました。

同中学校野球部は、東北中学軟式野球大会で優勝、ソフトテニス部の藤井心愛選手・佐藤円選手（ペア）は東北中学ソフトテニス大会で第5位の成績を収め、全国大会出場を決めました。



報告を受けた立谷市長は「野球部、ソフトテニス部ともに、チームワークを生かして偉業を成し遂げてくれました。晴れの舞台で力を発揮してほしい」と選手らに激励の言葉を贈りました。

野球部の関颯汰主将は「全国大会を楽しみ、東北代表としてがんばってきたい」、ソフトテニス部の藤井選手と佐藤選手は「これまで応援してくれた方への感謝を忘れず、笑顔でプレーしてきたい」とそれぞれ大会への抱負を述べました。

ナシの選果始まる
JAふくしま未来磯部梨共同選果場

8月16日、JAふくしま未来相馬地区磯部梨共同選果場で、今年磯部地区で生産されたナシ（幸水）の選果が始まりました。

当日は、30人の職員が選果し、10キロ詰めで200箱ほどを出荷。

佐藤安男同選果場長は「実のしっかりしたおいしいナシを、ぜひ味わってください」と述べました。

取れたてのナシが届きました
JAふくしま未来

JAふくしま未来によるナシの贈呈は8月18日、市役所で行われ、濱田賢次営農経済担当代表理事専務、山田秀晴そうま地区役員代表ら5人が訪れました。

同組合による贈呈は、本市での農業振興や販路拡大を目的に、毎年行われています。

濱田代表理事専務は「梅雨が短く、晴天が続いたため、今年もとてもおいしいナシができました。多くの方に食べてもらいたい」と述べ、立谷市長に取れたてのナシを贈呈しました。

男女共同参画の理解を広める
おうち時間写真展

8月13日、市役所1階御仕法通りにおうち時間写真展の展示ブースが設置されました。

同写真展は、新型コロナウイルス感染症の影響で自宅で過ごす時間が増えている中、育児参加やワークライフバランスの実現など、男女共同参画の意義と理解を広めることを目的に開催。

子どもが曾祖母の手伝いをする様子など、市民から応募のあった写真18点が展示され、市役所を訪れた市民らが足を止めて見ていました。

東北から元気を発信　楽天野球団

株式会社楽天野球団東北楽天ゴールデンイーグルスの2021がんばろう東北シリーズ企画によるキャップの贈呈は8月17日、市役所で行われ、同企画グループの高久弥生さんが訪れました。

同企画は、東北から元気を発信することを目的に、今年で10年目の開催。

キャップを受け取った立谷市長は「贈呈ありがとうございます。例年、楽天野球団には市民を元気にするイベントを行っていただき、大変ありがたいです」と感謝の言葉を述べました。

駐日ルワンダ共和国大使　本市を訪問

8月19日、アーネスト・ルワムキョ駐日ルワンダ共和国大使らが市役所を訪れ、立谷市長と懇談しました。

今回の訪問は、大使就任に合わせた表敬と県内の復興状況の視察を目的としたもの。

東日本大震災の際、本市はNPO法人ルワンダの教育を考える会から相馬市震災孤児等支援金に対し寄付をいただいています。

練習の成果を披露　県下小・中学校音楽祭第1部「合唱」

第75回福島県下小・中学校音楽祭第1部「合唱」相馬地区大会は8月20日、市民会館で開催され、出場した桜丘小学校合唱部が歌声を披露しました。

相馬地区音楽教育研究会の主催。

同合唱部は3年生から6年生の児童16人で構成され、課題曲「好奇心のとびら」と自由曲「きみ歌えよ」の2曲を歌い、会場に訪れた保護者らは美しいハーモニーに大きな拍手を送っていました。

ヒマワリで遊休農地対策　市農業委員会

市農業委員会は8月21日、黒木地区の遊休農地にヒマワリの種をまき、遊休農地対策のPR活動を行いました。

同対策は平成18年から行っており、ヒマワリは土壌を改善する効果があることから、荒れていた遊休農地を新たな耕作希望者へつなげることが期待されています。

当日は、農業委員と農地利用最適化推進委員22人が県道相馬大内線沿いの約10アールの遊休農地にヒマワリの種をまきました。

ヒマワリは10月ごろに満開を迎える予定です。

アワビの稚貝放流　県水産資源研究所

県水産資源研究所は8月24日、同研究所が約3センチメートルまで飼育したアワビの稚貝を相馬沖合に放流しました。

当日は、稚貝を積み込んだ4隻の船が松川浦漁港から出港し、漁港近くの岩場に約3、000個を放流。

アワビの稚貝は、3～5年で殻長10センチメートルまで成長し、漁獲できるようになる見込みです。

災害や犯罪から身を守る方法を学ぶ
防災・防犯訓練

八幡幼・小

八幡幼稚園・小学校の避難訓練は8月27日、園児・児童合わせて135人を対象に行われました。

同訓練は、震度6強の地震発生を想定し、災害時に臨機応変に避難できるようにすることを目的に実施。

児童らは、地震発生の放送が流れたあと、教師の指示に従い一斉に校庭に避難し、自身の避難行動を振り返りながら防災への意識を高めていました。

中村二中

中村第二中学校の防犯訓練は8月27日、全校生徒184人を対象に行われました。

同訓練は、校内への不審者侵入を想定し、緊急時の対応や避難方法、中学生が巻き込まれやすい犯罪やトラブルを理解することを目的に実施。

生徒らは、訓練を指導した相馬警察署員から不審者に遭遇した際に取るべき行動やSNSの危険性、利用の注意点などの説明を受け、防犯意識を高めていました。

木管楽器のやわらかい響き
木管五重奏演奏会

木管五重奏団「アンサンブル ル・クルーゼ」演奏会は8月29日、市民会館で開催され、市民ら約220人が鑑賞しました。

市民会館の主催。

アンサンブル ル・クルーゼは、岡林拓也さん（フルート）、土屋英晃さん（オーボエ）、澤本璃菜さん（クラリネット）、井上華さん（ホルン）、鈴木一成さん（ファゴット）により結成された木管五重奏団で、関東を中心に幅広く活動しています。

当日は、第一部でディヴェルティメント変ロ長調（モーツァルト作曲）などのクラシックが披露されたほか、第二部ではジャズのスタンダード・ナンバーとして知られる「アイガットリズム」（ガーシュイン作曲）や「もののけ姫」（久石譲作曲）、天空の城ラピュタより「君をのせて」（久石譲作曲）、水戸黄門などの楽曲をメドレーで演奏する「時代劇絵巻」などが披露され、訪れた市民らが木管楽器のやわらかな音色に聴き入りました。

明るい選挙を呼び掛ける
選挙啓発ポスターコンクール

市明るい選挙啓発ポスターコンクール審査会は9月10日、市役所で行われ、田中孝治市選挙管理委員会委員長ら8人が審査を行いました。

同コンクールは、明るい選挙を呼び掛けるポスターを市内小・中学校の児童、生徒に募集するもので、今回の応募総数は122点。

当日は、田中委員長ら審査員が、小学生低学年、高学年、中学生の各部門を審査し、入選作品を決定しました。

独創的なアイデアをたたえる
市発明展表彰式

第54回市発明展の表彰式は9月8日、市役所で行われ、入賞者が出席しました。

今回の発明展には、189点の応募があり、日常生活で有益か、努力の跡が見えるかなどが審査され、市長賞など17点が選ばれました。

表彰式では入賞者一人一人に賞状と記念品が手渡され、入賞した子どもたちをたたえました。

受賞した作品17点は、11月13日から11月14日まで郡山市で開かれる第67回福島県発明展に出品されます。

【入賞者（敬称略）】

●相馬市長賞
▽渡部葵空（中一小5年）渡部のボイラー（ミニ）
▽伊東季沙（桜丘小5年）つまんでカットピンセット
▽篠山明希（中一中3年）ぺったんネーム

●福島県発明協会会長賞
▽澁谷佑良（中一小6年）瞬間水切りポイ

●相馬市教育委員会教育長賞
▽篠山朋希（中一小6年）ふるい付きちりとり
▽髙野紗永（桜丘小5年）米とぎあみ
▽木村華乃（桜丘小5年）パッチン計算機

●相馬商工会議所会頭賞
▽加藤瑠夏（大野小6年）キャッチする象
▽門馬椿姫（中一小6年）多用式パーテーション
▽佐藤櫂地（磯部小6年）ラクラクつけかえ！ゆかそうじスリッパ

●福島民報社賞
▽船山千聡（八幡小6年）さらさら塩器
▽梅田龍之介（中一小6年）ハンド・ガード君
▽八巻優翔（桜丘小6年）のびーるせんたくばさみ

●福島民友新聞社賞
▽村井紗菜（八幡小5年）守るよボードくん
▽佐藤琉星（中一小5年）かんたん湯きり
▽佐々木悠莉（中二小4年）かわきやすいハンガー

●河北新報社賞
▽村岡明日空（磯部中1年）Magic broom

●学校賞
▽中村第一小学校
▽八幡小学校

絵画を寄贈
相馬共同火力発電

相馬共同火力発電株式会社の庄司一夫代表取締役社長らは9月7日、市役所を訪問し、絵画の寄贈を行いました。

絵画は、同社の創立40周年を記念して、鉄道風景画家の松本忠氏に制作を依頼したもの。

立谷市長は、受け取った絵画を眺めながら同社へのお祝いの言葉を述べました。

寄贈された絵画は、市役所1階御仕法通りで鑑賞できます。

東日本大会出場報告
相馬東高校吹奏楽部

市芸術文化奨励金交付式は9月8日、市役所で行われ、相馬東高等学校吹奏楽部の前田亜美香部長と梅橋美羽副部長が福地憲司教育長に東日本大会出場を報告しました。

同部は、9月4日に山形県で行われた第64回東北吹奏楽コンクールで金賞に輝き、10月10日に北海道で開催される東日本学校吹奏楽大会への出場権を獲得。

当日は、前田部長が「東日本大会で良い演奏が届けられるよう、練習をがんばります」と大会への抱負を述べました。